（1）昭和32年10月18日第三種郵便物認可（発行日毎月1回10日） 拓水 （202号） 昭和48年7月10日発行

拓水

題字は 県漁連三浦会長

7月号

No. 202

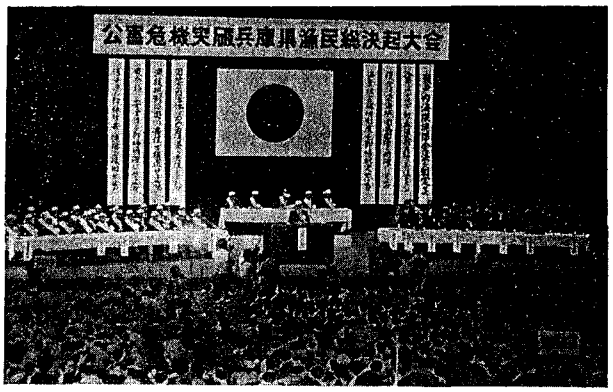
発行所
兵庫県漁業協同組合連合会
兵庫県水産業改良普及協会
〒652
神戸市兵庫区新在家町123
発行人 三浦清太郎
TEL 671-6685・681-6954
編集 拓水編集委員会
一部 10円

「政府・国会はかけ声だけに終るな」ずさん政策を追求

公害危機突破兵庫県漁民総決起大会

六月四日に国、五日には県において魚介類のPCB汚染調査が発表されて以来、本県全海域にわたって、魚価暴落、販売不態のため操業停止を余議なくされており、漁業者に漸している。

このような事態に立入っても国は抜本的な対策を建てようとせず、我慢に我慢を重ねた漁民の未曽有の怒りは、各地で暴発、いやおおなしにも盛上りを見せ、六月二十一日明石市民会館の「公害危機突破兵庫県漁民総決起大会」へと、一堂を会した。各地区様々な激怒とも思える意見発表を行ない、八項目に渡る大会決議を、国・県に要求することを決定。



公害危機突破兵庫県漁民総決起大会は、去る六月二十一日午後二時三〇分より明石市民会館で県下漁民代表二、二〇〇名余りが参加して開催された。

会場には、「魚介類の安全性を即時明確にせよ」「漁獲規制は国の責任で措置せよ」等々八本のスローガンが垂れ下り、又各所に掲げられた大漁旗、プラカードが大会の雰囲気を盛り上げる。

大会は天野信漁連参事の司会により開会。冒頭、岩城賢治公害委副委員長が別項の大会宣言を力強く宣す

続いて神頭宇市大会委員長（漁協長）の五氏が議長に就任決定し、引続き、意見表明に移る。

各海区及び婦人部から選ばれた代表五氏（県津＝倍川純雄神戸市西部漁協理事、播磨＝浜脇鶴松林崎漁協長、淡路＝前田博福良漁協青年部長、但馬＝作花英治但馬漁連専務、婦人部＝来田てる子県漁婦連理事）は、それぞれ今日の実情を訴え、追いつめられた漁民の公害絶滅に対する意見を表明。要約すると「いまや漁民の死活問題に立ち至っているPCB公害に対し政府、地方自治体、企業は何をしてくれたのか。漁民だけが何故犠牲にならねばならんのか。魚価低落、休業という最悪の事態をどう見ているのか。我々漁民は一致団結して、魚介類の消費流通正常化対策、漁場環境保全対策、漁業被害補償対策、汚染源企業の操業停止等の即時実施を要望する」としている。

これを受けて来資挨拶に立った坂井時忠県知事はヤジと罵声の飛びかう中「西港の埋立を早急に実施すると共に、魚に対する信用回復に最大限の努力をはらっている。又、被害救済については、県・市、企業による対策協議会の中で、補償措置をとるよう協議中だ」等々前向きの姿勢を示した続いて太田内海漁業調整事務局長、衣笠明石市長がそれぞれの立場から、挨拶した後、政党所信表明に移る。

自民党＝金井元彦（参）議員、社会党＝坂東義雄県会議員、共産党＝補井洋（衆）議員、公明党＝渡辺一郎（衆）議員、民社党＝中沢伊登子（参）議員がそれぞれ党を代表して所信表明を行ったが、いずれも現在の漁民の窮状を真に理解されておらず、党利党略にこだわったものであり、先の瀬戸内海漁民大会時点から殆んど進歩していない内容に、漁民は不満を爆発させ会場内は、ヤジと罵声が渦巻き、興奮した漁民が演壇につめ寄る一幕もあった。

このあと釣秀雄飾磨漁業協同組合長により力強く8項目の決議文が読み上げられ、会場はこれに答えて万場の拍手をもって採択を行なった。

大会決議実行は実行委員会に一任され、実行委員長は「これが実行に、座り込みも辞さない確悟でやりたい」と、その決意表明した。

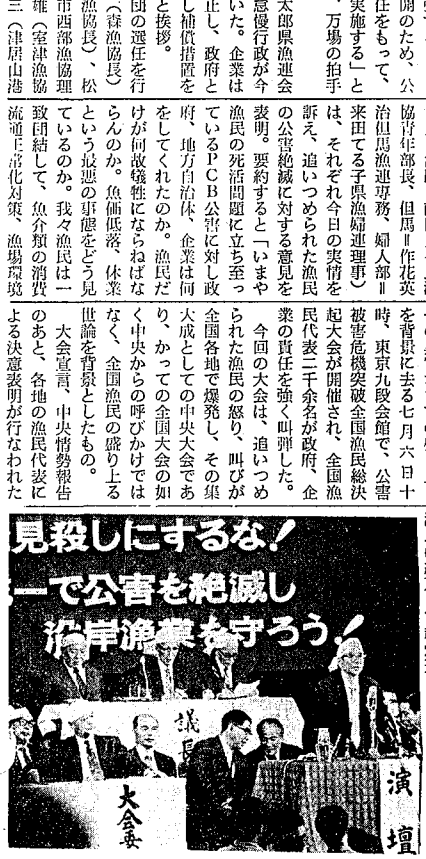
追いつめられた漁民 中央大会で怒り爆発

政府明確な回答避ける

全国漁民の公害絶滅闘争への異常なまでの盛り上りを背景に去る七月六日十時、東京九段会館で、公害被害危機突破全国漁民総決起大会が開催され、全国漁民代表二千余名が政府、企業の責任を強く叫弾した。

今回の大会は、追いつめられた漁民の怒り、叫びが全国各地で爆発し、その集大成としての中央大会であり、かっての全国大会の如く中央からの呼びかけではなく、全国漁民の盛り上る世論を背景としたもの。

大会宣言、中央情勢報告のあと、各地の漁民代表による決意表明が行なわれた



兵庫県代表として意見表明をする浜脇林崎漁協組合長

「もう国は頼りにならん、一って闘おう」「漁民は操業を中止している。企業も操業をやめろ」「国は漁民の経済的損失を補償しろ」等々政府、企業への怒り悲痛な叫びが会場にひびく。

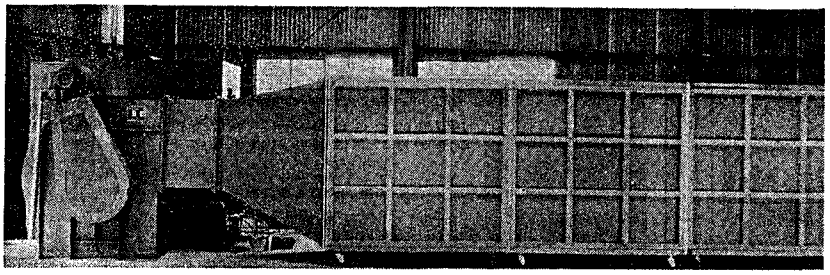
続いて登壇した各政党代表所信表明は激烈なヤジと怒号の中で行なわれた。特に自民党＝倉石忠雄政調会長は「①汚染源企業には厳しい姿勢でのぞむ。悪質企業は操業停止等強い制裁措置を講ずる。②魚の安全性の周知徹底。③漁民救済措置として緊急融資を実施し金利は、一切漁業者に負担させない。④漁場汚染があった時は基準に基づきヘドロの除去と漁場の復旧を図る」としているも、政府自民党の回答として漁民の納得のいくものでなかった。

大会決議では「漁民の要望が明確に措置された限り全国漁民は連帯して、今後一切の企業の進出を阻止する」として五項目を満場一致採択。

大会終了後、参加者二千三百余名は企業の総本山＝経団連に抗議デモを実施し、口々に「企業は操業やめろ」「政府は責任をとれ」とシュプレヒコールをくり返した。

公害絶滅！日本の魚を守れ！……と経団連へデモ行進

魚類乾燥の冷風乾燥機



<新しい機構>
14時間で冷風完全乾燥 素晴しい方式で業界をリード

藤木式魚類乾燥装置

乾燥品 イワシ、煮干、サバ、開干、イワシ丸干、タラ、サンマ シシャモ、ニシン、珍味のり24時間、イカ30時間、コブ 8時間' 水イカ、味醂干、開き(25センチ物)7～8時間

フジキ 藤木産業株式会社
本社 松山市山越町1丁目272 電話0899（22）2311
営業所 松山市千舟町7丁目7 電話0899（45）3411

大会決議

PCB汚染企業の責任糾弾
窮状救済補償措置の要求

日ごとに激化する汚水公害の猛威に加えて、近時、PCBの出現により、その特異性は一般国民に異常な恐怖心を与え、ひとり漁業のみならず、広く国民の食生活に重大な事態を招来しており、もはやその実態は、寸刻の放置もゆるさない段階に立ち至っている。

昨年五月、PCB汚染問題が提議されて以来、本県漁民の再三にわたる警告や要望にも拘らず、これを軽視して抜本的な対策を実施することなく、今日までその推移にまかせ、このたび、なんら具体的な対策もないまま、ただ漫然とPCB汚染調査の結果を公表したため、消費者を極度の恐怖、混乱に陥れ、漁民をして今日最悪の苦境に立ち至らしめたことを思うとき、断じてこれ以上の遅延、姑息な対策は許すべきでない。

本日、兵庫県全漁民の代表が一堂に結集して、PCB等あらゆる汚染源を断固排除する不退転の決意をもって立ちあがり、魚介類に対する流通の混乱を緊急除去するとともに、永久に安心して漁業ができる豊かな漁場を取り戻し、われわれの生存権を守り抜くため、ここに兵庫県漁民総決起大会を開催した。

決議文朗読釣飾磨漁協長

われわれは、政府ならびに地方自治体に対し、本大会の名のもとに、魚介類の消費流通正常化対策の緊急実施と、漁場環境保全に関する抜本的施策の即時実施を要望し、次の事項の実現を期するものである。

一、汚染源の除去を早急に実施すること。

二、PCB汚染に関する規制区域以外の海域で漁獲される、魚介類の安全性を明確にするとともに、消費者に対し、その正常な認識の徹底を図ること。

三、汚染海域における汚染魚の漁獲規制を漁民の自主規制に任すことなく、国の責任において規制すること。

四、PCB汚染問題に関連する漁業規制ならびに、魚価低落、操業不能等により漁業の受ける損失に対する補償を国の責任において完全に行なうこと。

五、汚染源企業の汚染責任分野を明確にすること。

六、PCB処理方法の開発ならびに測定機構の改善を促進すること。

七、公害による漁業損害に関する無過失損害賠償責任制度を早急に確立すること。

八、漁業被害補償を含めた漁場環境保全に関する特別法を即時制定すること

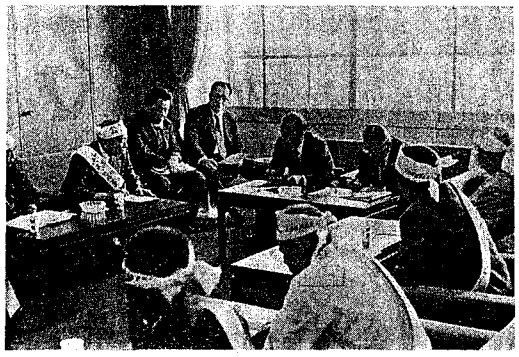
右決議する。

昭和四十八年六月二十一日

公害危機突破

兵庫県漁民総決起大会

場当り政策をやめ
「汚染」の不安を除け
県大会実行委員会



連日陳情を行なう公害対策委員会

去る六月二十一日県漁民大会の決議に基き、一谷副一し陳情、副知事は「PCB汚染問題は知事以下総力をあげて取組んでおり、南港埋立については早急に実施する。」議長は「議会の立場で漁民の救済対策に取り組む。県には県の立場もあり行政官庁ということを充分判ってやってほしい。」との解答があった。

過ること二十六日と二十七日の両日に中央において強力且つ広範囲にわたり陳情を行ない、決議事項実現に先生方の政治力結集を要望。環境庁においては、梅本次官より「魚の安全性をもっわかり安くアピールする。そして無過失賠償責任の追求、沿岸地域企業の総点検、汚染ヘドロ除去の早急立案等を強力に行なう。」等の解答を得た。

（県漁連公害対策委員会）

考えて育てる漁業
はまち養殖事業の問題点と今年の指導項目

最近のはまち養殖は需要の増大により、その飼育技術が進歩し養殖形態も多角化の様相を呈して来た。

そこで前号の「はまち養殖事業の問題点の指導項目」の「はまち養殖の現況」に引き続き「本年度の養殖事業の病害対策指導としての主体項目」を掲載いたします。

本年度の養殖事業の病害対策指導としての主体項目を挙

一、**採捕運搬**…本県も自家採捕しているので、稚魚の乱暴な取り扱いは避けるべきで、魚の体表のスレ等には充分注意し、細菌性の疾病に感染しないよう心がける。

二、**搬入運搬**：稚魚期の内海への運搬時は外傷が出来易く、すぐスレを生じるから、運搬後はフラン系の薬剤による消毒をする必要があろう。もし、[illegible]ない場合はサルファ剤を経口投与し、細菌性の疾病に対する予防処置が肝要である。

三、**越年魚と当才魚とを隔離**：本年度も越年はまちを養殖される場合があれば、稚魚と越年魚とは出来る限り離して養殖して欲しい。

四、**収容尾数の確認**：養殖初期には小割網の尾数が変動し易い。しかし、疾病等が発生した場合には投薬する必要がある。その場合に、尾数と魚の重量が基準となり、投薬量が決定される。吾々の現場指導に際して案外この尾数の確認がなされていないことが多い。従って、折角、高価な薬を投薬しても魚の病気は一向に直らない場合がしばしばある。

このような場合は大体、放養尾数の不正確さに原因がある。これらは養殖経営の無駄な支出となるから養殖期間中の総尾数は必ず確認してほしい。

五、**餌料**：鮮度の良い餌料を与えることは言うまでもないが、いくら冷凍がよく、鮮度良好の餌でも実際に魚の口に入る時点での鮮度が問題である。従って、解凍には直射日光を避けて鮮度を出来る限り低下させないことが必要である。

さらに、疾病の治療、予防に際して経口投薬する場合は従来から生餌のミンチが多い、その場合にはまち用配合餌料か栄養剤等をも添加して投与するのが望ましい。

六、**魚体観察**：養殖魚の魚体の観察は絶対必要である。特に、魚の泳ぎ方、摂餌の良否、魚の体色、魚の体表には毎日の投餌の際、充分に魚の状態を観察しておれば、魚の健康度が把握出来る。例えば一日位の摂餌の低下は海の状態により変化するが、二～三日も摂餌不良が続くと、魚は異常と判断して県へ連絡して頂きたい。その際、小割網の底にへい死魚が出ているないかの点検が必要である。

魚の異常には早期発見が一番大切であり、手遅れにならないようにして頂きたい。

七、**養魚日誌の記録**：過去に日誌を配布して記入を依頼したが、水試等のあてがいノートでなく、各人各様で、皆さん方自身にとって、一番わかり易い自由記入の日誌が必要かと思われる。それに、魚の観察、漁場周辺の海洋状況、魚のへい死等の記録がほしい。

以上は、従来から言われている、全く、初歩的な養殖管理上の諸項目に過ぎないが、得てして、養殖技術の進歩と共に、何人でも、自分の技術を過信し勝ちであるが、もう一度、基礎的な管理上の諸問題を充分にわきまえ、本年度のはまち養殖には吾々共々協力し合い「考えて、育てる漁業」へと努力しようではありませんか。

"日本海スルメイカ"
四十八年の漁況予報

去る六月二十日、日本海各府県水試および北海道・日本海・西海区各水研のスルメイカ担当者が参集して行なわれた四十八年度第一回のスルメイカ漁況予報会議において、今後のスルメイカの漁況予測が要約つぎのようになされた。

まず、日本海で漁獲の対象となる系統群別の資源量の変動傾向として、冬生まれ群は近年減少傾向にあるが本年はこの群の出現は昨年を上回る。秋生まれ群は主として沖合スルメイカの主対象群であるが昨年に比すと出現状態は悪るくやや下回る。夏生まれ群は近年うつ陵島北東沖、隠岐東方のぞくとほぼ平年なみの低い水準である。と以上のように評価され、これをうけて七～九月期の各水域における漁況は漁場形成にあづかる海況の現状や今後の予測を合わせ検討してつぎのように考えられた。

一、**日本海沖合海域**

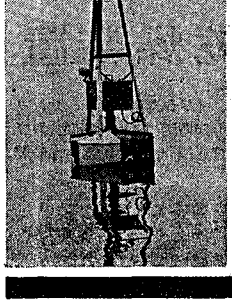
今年の七～九月に沖合水域で漁獲対象となる昭和四十七年秋生まれ群の資源量は昨年に比しやや低い水準にあると推定される。六月上旬におけるスルメイカの濃密分布域は北緯四〇度～四一度間の大和堆北沖を中心とする日本海中央部沖に形成され、七～九月期の主漁場は東経一三二度以東水域では大和堆北沖を中心とする海域に、以西ではうつ陵島北東沖および朝鮮北部沿岸寄りに形成されよう。来遊資源量、分布状態・海況の変動傾向から考えて漁獲の日間、船間変動が大きく、一隻当り漁獲量は昨年比では下回り、総漁獲量でも昨年同期（本州日本海沖合のみ、七～九月八・五万トン）をやや下回ると予想される。

二、**日本海本州沿岸**

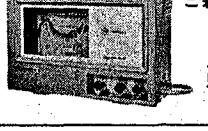
青森県を除き七～九月の漁獲対象群は主として秋生まれ群と一部冬生まれ・夏生まれ群と混入するが、六月上旬の一斉調査結果では秋生まれ群の分布中心は大和堆北沖の北緯四〇度付近を東西に拡がっており、それより以南の本州沿岸寄りは水域における分布密度はきわめて低い。一方冬生まれ群については今年二～三月の東支那海北部海域のスルメイカ稚仔の出現数は昨年よりも多く、また本州日本海沿岸各地でも小イカの出現率が高いこと等から昨年よりもやや良い状態と推定される。夏生まれ群の出現は昨年同様かやや下回り、結局近年のうちもっとも不漁であった昨年（四、七〇〇トン）よりは上回る程度と予想される。なお北海道西岸沿岸部では昨年なみ、北海道西沖～カラフト西部水域では前記の秋生まれ群の来遊は少ないが、冬生まれ群は昨年を上回り結局昨年なみかやや上回る程度と予想される。

以上相対的な来遊資源量の水準の概略を基として大まかな予測がなされたが、分布域の移動や、潮境前線の局部的な推移については今後の漁況情報、海況情報によって好漁場の把握を適確に行なうことが必要である。（水域但馬分場名色）

最高の性能と
最大の実績を誇る…
ブイの王様
ゼニライト
あらゆる漁場にあわせてゼニライトは約40銘種をそろえて
皆様の御用命をお待ちしております。
お問合せは各県漁連へどうぞ。
株式会社銭屋アルミニウム製作所浮標事業部
池田市豊島南2丁目176－1・Tel・0727(61)1231・Telex・5322－235
長崎Tel・0958(26)6653・Telex・7524－34・東京Tel・03(571)3681
Telex・252－2097・札幌011(220)2571



海上電機が皆様に贈る新製品
小型漁船からレジャーボートに友進が一人増えました
これからの海に是非お供させて下さい
フイッシュパイロット
Z－1・マークII
中型、大型も各種取揃えています
海上電機株式会社
神戸市生田区明石町32　電話 391－4301



6月の漁況と海況（内海側）

◉海　況

4～5日に実施した播磨灘の海洋観測結果によると中・東部域では各層とも18.0℃内外で平年並，北部域は表層18.5℃～19.0℃でやや低目，中層 17.5℃～18.0℃で＋0.5℃，底層17.0～17.5℃で＋1.0℃～＋1.5℃それぞれ高目，西・南部域では表層18.5℃内外で平年並，中層18.0℃内外で＋1.0℃，底層15.5℃～16.5℃で＋1.5℃それぞれ高目を示し中・東部では上・下水温差は殆んどみられないが西・南部域では± 2.0℃で前月に引続き家島群島南部域の底層で他域に比し低水温域を形成している。一方18日の大阪湾西部海域では全域にわたって上・下水温差は殆んどみられず北部域で各層とも20.0℃内外，南部域で20.5℃内外を示し表・中層で＋1.0℃内外，底層で＋1.5℃内外それぞれ平年より高目に経過している。また同月の紀伊水道北部海域でも大阪湾同様に上・下水温差は殆んどみられないが前月に引続き東高西低型の地域的水温偏差を示し東部域では各層とも21.5℃内外で表・中層はほぼ平年並であるが底層＋1.5℃，中部域では 20.5℃内外で東部同様表・中層はほぼ平年並，底層＋1.0℃，西部域では19.7℃内外で中・底層＋1.0℃内外を示し全域にわたって低層域は平年より＋1.0℃～1.5℃それぞれ高目に経過している。

◉漁　況（概況）

例年なれば明石瀬戸とその東・西海域ではエビ，タコ，カレイ，アナゴ，イカ，ベラ，キス，スズキ，カサゴ，マルアジなど。友ケ島水道とその南・北海域では，エビ，タコ，アナゴ，エソ，ハギ，ベラ，キス，ハモ，タチウオなど。鳴門海峡とその南・北海域ではエビ，タコ，アナゴ，カサゴ，タイ，キス，ガザミなど。播磨灘中部海域ではサワラ，マルアジ，サバ，カタクチイワシ，コノシロなど。北部及び淡路沿岸海域では，エビ，ベラキス，タコ，アイナメ，スズキ，コノシロ，カレイ，シヤコなどが各地の小型底曳網，磯刺網，流し刺網，巾着網，曳縄釣一本釣の対象魚で県下内海全域にわたって漁船漁業の最盛期である。しかし本月4日水産庁の全国ＰＣＢ汚染魚調査結果の発表により全魚種にわたって全国的に魚価の大暴落を来し，特に本県は高砂，姫路沿岸の汚染が顕著で遂に中旬以降内海全域の漁船漁業は休漁の止むなきに至った。

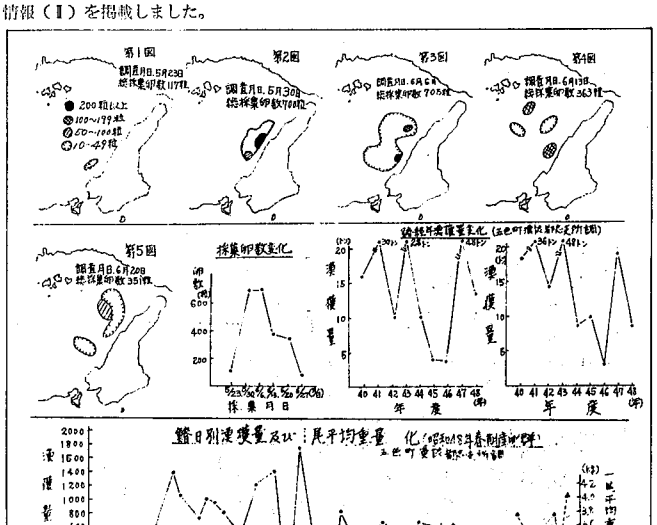
◉本春のサワラ（産卵群）漁況

（淡路島五色町を中心とした播磨灘における流し網漁業について）

4月号で予測したように本年は入り込み時期にその回遊経路に当る紀伊水道中・東部，大阪湾南・中部海域の海況が近年にない高水温分布を形成し，また回遊並びに産卵海域（漁場）である播磨灘東・中部海域におけるその後の水温分布も例年比較で1.0℃～1.5℃高目に推移したため例年よりやや早目の4月下旬後半には初漸を見，更に1旬早目の5月中旬前半～下旬前半に最盛漁期となった。下旬後半からやや低調となったものの6月早々のＰＣＢ汚染魚発表により魚価の大暴落を来し中旬の出漁を取り止めるなど下旬にはほぼ終漁を思わせる低調さとなった。漁場形成は4月号でも述べたが小豆島東部（家島群島寄り）に毎年同期に存在する冷水塊の中部への張出しが本春はやや顕著であった影響などで例年より東部海域（明石瀬戸寄り）に魚群が偏在した模様でその海域では日によって集中的な羅網をみた。従って本春は各船ごとの漁獲量偏差は例年より激しかった。漁獲量（1夜1隻当り平均）は5月上旬3尾，中旬15尾，下旬12尾，6月上旬8尾，中旬6尾，下旬3尾（都志支所調）で1尾当りの平均体重は5月上旬3,330ｇ，中旬3,180ｇ，下旬 3,130ｇ，6月上旬3,330ｇ，中旬3,440ｇ，下旬 3,650ｇで最盛期には小型魚が多かった。年別漁獲量としては6月中旬の出漁を取り止めたものの昭和41年，43年，47年のような豊漁には恵まれなかったが，平年漁を上回った。しかし魚価の暴落により漁家収入は下回った。

◎サワラ産卵状況（白鳥丸による調査結果）

5月中旬後半～下旬前半頃より放卵が始まり第1回（5月23日）の調査では雛来崎2沖合で最高の78粒，次いで五色浜沖合2.5地点で33粒の採集卵をみ，その他の調査地点では殆んどみられなかった（第1図参照）第2回（5月30日）の調査では都志灯台沖合2地点で最高 549粒を採集しこれを中心として五色浜沖合～郡家沖合にかけて濃密な分布を示した。（第2図）第3回（6月6日）の調査では第2回と同様都志灯台沖合2地点で最高341粒を採集，次いで郡家沖2.5地点で121粒で採集域が広範囲になった。（第3図）第4回（6月13日）の調査では五色浜沖合2.5～都志灯台沖合2地点で111,107粒，また一方男鹿島大崎沖合3.5地点で最高117粒を採集したが第3回に比べ卵数，範囲とも大巾に縮少した。（第4図）第5回（6月20）の調査では第4回より一定点による採集卵数が更に減少し分布域が淡路沿岸域よりやや北東部寄りになった。（第5図）以上の調査結果からみて本年の産卵盛期は5月下旬後半から6月上旬後半の約10日間で6月上旬後半には殆んど終了した。これを例年に比較すると約半旬程度早目であった。また採集地点からみて初期は淡路湊，盛期は五色浜～都志の各沿岸域，終期は本船航路灯浮標㐂5～㐂4周辺域が中心で比較的順調な産卵状態であった。（水域岩井）



◉お断り……

本月は魚価相場が成立しない関係上各地漁況特記事項，今後の見込みを取り止めサワラ情報（Ⅱ）を掲載しました。

地道にしっかりと 全国漁協貯蓄五千億円 達成運動状況

はじめに第三年次（昭和四十七年度）の実績を報告します。

全国の実績集計は，四千百三十六億円で，これは目標額三千七百六億に対して大巾に上回る成績であります。特筆すべきことは，全国の各道府県がすべて目標額を突破したことであります。

本県におきましては，目標額百十億円で年度頭初から努力しましたものの，Ｐ・Ｃ・Ｂ，赤潮の災害に加え，但馬の沖合イカ釣漁が不振のため，内海，但馬とも大打撃をうけ，漁協貯金の伸びは全くみられず，本年一月末までの実情は目標額の達成も一時あやぶまれる状況でありました。

二月下旬に第九回漁協貯蓄推進大会を開催し，お互に目標額達成を申し合せて，年度末追い込み運動を展開しましたところ，内海方面ののり養殖の順調な水揚げと，但馬方面の沖合底曳網の堅調に支えられて，最終段階に至り遂に目標額を上回る百十一億六千万円の好成績をあげることができました。

その達成率をみますと，全国平均達成率，一一一・六パーセントに対し，本県は一〇一・四パーセントで最下位に甘んじております。しかし，困難な事情の中にもかかわらず，年度末の二ケ月間で十億円以上の貯金が吸収できましたことは，組合役職員各位のなみなみならぬご努力と，組合員の系統意欲の浸透によるものと思い，今後の推進に意を強くした次第であります。なお参考までに，海区別実績を示しますと次表のとおりです。

次に第四年次（昭和四十八年度）の推進につきましては，本県においては，組合別に水揚高の一割以上を漁協貯金として確保することを柱として，純増加目標額十九億円と決定しています。

しかし，年度頭初から，Ｐ・Ｃ・Ｂ，の汚染実態の発表による漁家の打撃は深刻で，漁価の暴落に加え，消費者の魚の敬遠等，まことに憂慮すべき情勢が続いておりまして，何よりもこの事態が一日も早く平常に回復するよう，系統をあげて全力を注いでいるところであり，わたしたちの貯蓄運動もこのような背景のなかで，地道にしっかりと推進していかねばならぬと痛感する次第です。

昭和４７年度海区別実績表（単位・千円）

海区別＼年度別	47. 3.31 貯金残高	48. 3.31 貯金残高	差引 増加額	47年度 純増目標額
摂播海区	2,183,337	2,821,042	637,705	420,000
淡路海区	1,060,359	1,425,497	365,138	350,000
但馬海区	5,956,945	6,913,041	956,096	1,030,000
県内合計	9,200,641	11,159,580	1,958,939	1,800,000

昭和４８年度純増目標額表（単位・千円）

海区別＼	48. 3.31 貯金残高	本年度 純増目標額	49.3.31 貯金残高 見込
摂播海区	2,821,042	530,000	3,351,042
淡路海区	1,425,497	420,000	1,845,497
但馬海区	6,913,041	950,000	7,863,041
県内合計	11,159,580	1,900,000	13,059,580

最後に海区別目標額は次のとおりですから，本県のみ取り残されることなく苦難のなかにあっても，系統一体となって目標額を達成し，兵庫県の漁協の力，漁民の意気を全国にしらせたいと念願する次第です。

海区別目標額は次のとおりです。

「山紫水明」この文字が中心とする沖合スルメイカ漁業は，最初自由漁業であったり，漁場の海域となっている。

海岸線はいたる所，奇岩あり，洞門あり，絶壁ありの海の姿を誇示している。

ひるがえって，沿岸漁業は，特に，浅海の磯を利用するような漁業は，沖合漁業のかけ声のもとに，日本海の発達してきた。

戦後一時停とんしていた漁業のてこ入れとして，水産行政の方向は，沿岸から沖合へ，沖合から遠洋へのシフトがとられ，日本海区水産研究所，なども日本海区水産業者が努力しなかったと云うわけではなく，漁礁造成や流調査を契機にして，組織的な調査体制が整い，沖合資源の調査が行なわれ，カラフトマス，スルメイカ，サンマ等が浮びあがってきた。なかでも大和堆漁場をたためと思われる。

ところが，遊漁者にとっては「但馬海岸は磯釣りのメッカ」と云われる程の歴史的な関係もあるが，急速に発展し，現在では日本海漁業の第一位にランクしている。

水産庁も近年沿岸漁場の再開発に重点を向けており日本海栽培漁業も企画されている。

この綺麗な海を背景にして，但馬の漁業は営まれ，発達してきた。

水あくまで青く，昔ながらる。

ひるがえって，沿岸漁業二年前から，栽培漁業推進のための基礎調査が始められ，最近のうちに事業化すべく準備も調んでいる。

この際，但馬沿岸についても漁場と資源の実態を調査，把握し，栽培漁業の受け入れ態勢を整えるとともに合理的かつ最も効率的な漁業を開発し，沿岸漁業の生産性向上をはからなければならないと感じている。

（但馬Ｈ・Ｓ生）

但馬寸感

努力いたす所存です。何分ともよろしくご協力の程お願いします。

兵庫県信漁連

なお，六月，七月は特別増強月間を予定していましたが，期間は少々遅れますが今後とも系統総ぐるみで

余裕馬力の差が〝大漁〟をお約束します
新発売
●内海沿岸漁業に最適
M3Q＝30馬力 1400回転
●内海沿岸の底引きに最適
3QC＝農林15馬力
1200回転
M3Q
ゆたかな人間環境つくり
久保田鉄工
クボタ マリンディーゼル
本社・大阪市浪速区船出町2丁目13 電631-1121 ㊇556
高松営業所・高松市内町103 電51-7931 ㊇761-11
福岡営業所・福岡市内町450 電231-8271 ㊇060
名古屋支店・名古屋市東区泉1丁目980 電961-1511 ㊇730
仙台支店・仙台市中央1丁目980 電25-8151 ㊇590
北海道営業所・札幌市北3条西3丁目 電21-0990 ㊇060
広島営業所・広島市中町450 電4-3585 ㊇050
ディーゼル工場・堺市築港新町3丁目 電41-1121 ㊇590

季節風

冬季日本海における——海上風速の目安

舞鶴海洋気象台予報課　堀口善一

日本海を航行する船舶にとって、海上風速、特に冬季の季節風は注意を要する要素の一つです。気象台から発表される予報や警報に充分注意し、航海をすることが大切です。気象台では地上天気図をはじめ、各種の高層天気図、電子計算機による予想資料、気象衛生やレーダー観測資料等種々の資料を用いて風速を算出したり天気予報を出したりしています。従って気象台の予警報と皆様方の長い経験によって養われた観天望気の法を併用して安全な航海をすることが望ましいと思います

ここでは皆様方に比較的一本海海上の風速を予測する入手が容易であります地上目安を筆者が調査した資料天気図と沿岸の風速から日に基き紹介します。

(1) 日御碕燈台風速と等圧線数との関係。

一般的に風速は低気圧のみると、日御碕の風向が北場合であれば中心示度が小寄りの場合は日御碕の風力さくなる程強くなり、冬型と等圧線の数とがほぼ一対気圧配置のような場合は、一に対応します。また日御気圧傾度が大きくなる程、碕の風向が西寄りの場合いいかえますと等圧線の間は、等圧線の数に2を加えた隔が小さくなる程風速は大ものがほぼ日御碕の風力きくなります。従って等圧になります。従って西高東線の間隔をみれば大体の風低の冬型気圧配置の場合速の予想ができることにならは、南北に走る等圧線数かります。日本海のほぼ中央ら風力の予測ができます。の北緯40度東経130度から140（用いた資料は昭和42年～度の10度の間に南北に走る44年までの1・2月のもの2mbの等圧線の数と日御碕）。燈台の風力の関係を調べて

(2) ブイ風速と舳倉島燈台風速の関係

舞鶴海洋気象台では海洋上風速の目安としては充分気象ブイロボットを設置し利用できます。（用いた資海上気象の資料を得ているが、このブイより得た風速料は昭和45年11月～46年3を海上風速の代表として用月）。この他、高気圧が北いて片寄って北東風が吹くような気圧配置のときは、意舳倉島の風速との関係外と強風が吹くことがあるは海上風速の約8割の強さので注意を要します。陸上の風が吹いていることになの風は地形の影響を強く受けるため、風が弱くなり海上風の直接の目安になる観測所は少ない。また陸上の風を目安にする場合は平均風速よりも瞬間風速の方がよいと思われます。以上紙面の関係もあり大雑把な説明ですが、何かの御参考になれば幸甚です。

現物給与の金銭換算基準を改定

適用は四月一日に遡及して

農林年金

現物で支給される給与の現行換算基準については、前回改定後参考基準にしている消費者物価指数その他に変動があり、それに対応するため当共済組合法第20条第10項の規定により左記のとおり改定し昭和四八年四月一日より適用することになりましたので、お知らせいたします。

現物給与の金銭換算基準

1 無償で供与している場合

無償で住居、食事、暖房資材、または被服（作業服看護服、その他の勤務服装る制服を除く。）等を供与しているときは、つぎの標準により算定する。

ただし、その現物を供与している地方における時価がこの標準の額よりも低額であるときは、その時を価もって算定する。

(1) 住居

区分	朝食 1日	朝食 1月	昼食 1日	昼食 1月	夕食 1日	夕食 1月	1月3食
6大都市	65 (50)	1,625 (1,250)	80 (65)	2,000 (1,625)	95 (75)	2,375 (1,875)	6,000 (4,750)
その他の市制施行地	50 (35)	1,250 (875)	65 (45)	1,625 (1,125)	80 (55)	2,000 (1,375)	4,875 (3,375)
これら以外の地	45 (30)	1,125 (750)	60 (40)	1,500 (1,000)	70 (45)	1,750 (1,125)	4,375 (2,875)

①六大都市
一月一畳当たり　四七〇円
（三三〇円）
②その他の市制施行地
一月一畳当たり　二九〇円
（一八〇円）
③これら以外の地
一月一畳当り　二四〇円
（一四〇円）
（注）地域の区分は、住居の供されている地点によるものとする。

(2) 食事（一月二五日計算とする。下表を参照）
（注）地域の区分は食事の供されている地点によるものとする。

(3) 被服（作業服、看護服その他の勤務服たる制服を除く。）その他の現物購入価格を基礎としてその

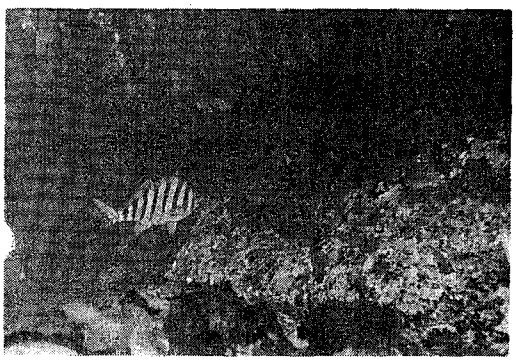
供与期間に対応する一カ月当たりの換算額を算出し、その額を現物給与の額とする。

1 一部自己負担している場合

供与している現物の価格の一部を組合員が自己負担している場合においては、その価格とこの負担額との差額を基礎としてその供与期間に対応する一カ月当たりの換算額を算出し、その額を現物給与の額とする。

【注意】括弧内の数字は従前の換算額です。

竜宮城へ——タカノハダイ——



岩場のタカノハダイ

タカノハダイは、神戸付近でサンバソウ、九州の玄海灘に面した地方の多くでは、キコリとよばれている。又、タカッパとよぶ地方もある。タカノハダイは一般にまずい魚とされている。現に地方名でションベタレ、センチフキ等、あまりありがたくない名前をつけられている。図鑑にも食用となるが不味であるとかいてある。

しかしながら、九州、博多付近では、中級の上の魚として結構、珍重されている。

タカノハダイを刺身にしてだまって人にだすと、大ていの人は、おいしいという。

小骨が少々あるが、すくなくとも不味ではない。タカノハダイの名誉のために又、これから、タカノハダイをたべる機会がある人にこの事実をかいておく。

タカノハダイは、但馬海漁（日本海）、又、太平洋側等に多い。瀬戸内海では非常にすくないようである。

タカノハダイの体形をみてみると、腹部は丸味がすくなく、直線的であって、うまく、海底の岩や石の上に、体をおくことができるようになっている。

実際に潜水して、観察してみても、石の上にチョコンと体をやすめている。

タカノハダイは、活発に動くということはない。

おいかけてみると直線的ににげる。左に一mほどさっと動いたかと思うと、今度は右に直角に一mほど動き、一秒ほど静止して、又直線的に一mほど動いて静止する。

このように、行動は直線的で鈍いため、モリでつくのは、比較的、簡単である。

しかし、直線的にたらめにげるので、一瞬、タイミングをはずされ、モリ先が水中をよこぎり、岩に衝突することもある。

口をみてみると、オチョボグチであり、これで、海藻をつつき、海藻にくっついているゴカイヤ端脚類を上手にたべる。

釣ったことはないが、こんな口をしているタカノハダイを釣るのはむつかしいのではないかと思う。

タカノハダイの体色は、全体に黄色ぽっく、体に赤褐色の横シマがはいっていて、この近海の魚としてはかなりハデである。

しかし、赤褐色の横シマは、海藻のホンダワラ類やカジメの群落のなかにはいると、みわけにくくなり、保護色としての役目をはたす。

タカノハダイは、たいてい単独で生活をしており、イシダイヤメジナのように群れを作らない。

それゆえ、潜水しても、メジナのように目立たず、どこからともなく、一尾だけひっそりと出現し、岩の上にチョコンと体をおいている。このような、タカノハダイの行動をみていると海の中で、ママ子あつかいにされているようで、気の毒な気がするが、本人（？）は他人のように、我が道をゆく、悠々自適の生活をたのしんでいるのかもしれない。

但馬分場　玉木哲也

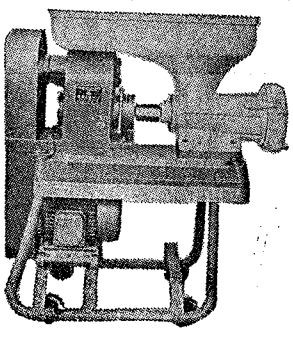
編集後記

最近、発行日が遅れながらも、ようやく二〇〇号を越えました。

これからも兵庫県の地方色を出しながら、編集を行ってゆきたい所存ですので、多方面からの情報投稿にご協力下さい。

（県漁連）

養魚の調餌と造粒は
コウベヒラガのミートチヨッパーで

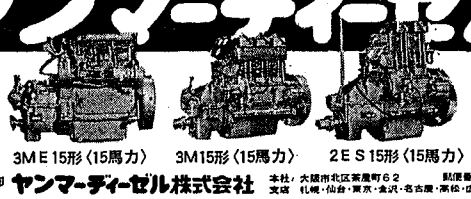


養魚用ミートチヨッパーNo.32からNo.72まで各種製作しています。又最近の人工餌料需要の増加にともない生魚と人工餌料をよく練り合せ造粒装置付チヨッパーで給餌することもできます。

（御一報次第カタログ贈呈いたします）

ミートチヨッパーとプレート，ナイフの専門工場
株式会社 平賀工作所　神戸市長田区水笠通3丁目8
TEL代表神戸(078)62—1527

船舶主機用3～1200馬力・船舶補機用3.5～1200馬力
底曳漁業の省力化に
たくましい力を——！
ヤンマーディーゼル



3ME15形〈15馬力〉　3M15形〈15馬力〉　2ES15形〈15馬力〉

ヤンマーディーゼル株式会社　本社・大阪市北区茶屋町62　郵便番号530
支店 札幌・仙台・東京・金沢・名古屋・高松・広島・福岡